

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月5日

上場会社名 パウダーテック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5695 URL <http://www.powder-tech.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 祐二
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役 (氏名) 徳重 秀人 (TEL) 04-7145-5751
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	8,185	5.2	1,386	2.9	1,377	0.2	913	△1.4
29年3月期第3四半期	7,780	6.5	1,346	29.2	1,374	32.6	926	40.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 909百万円(0.2%) 29年3月期第3四半期 907百万円(37.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	308.18	—
29年3月期第3四半期	312.47	—

(注) 当社は平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	13,282	10,098	76.0
29年3月期	12,840	9,442	73.5

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 10,098百万円 29年3月期 9,442百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	95.00	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご参照ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,900	5.4	1,780	5.0	1,770	5.4	1,160	2.3	391.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期連結業績予想(通期)の1株当たり当期純利益は、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	2,970,000株	29年3月期	2,970,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	6,421株	29年3月期	6,073株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	2,963,776株	29年3月期3Q	2,964,296株

(注)当社は平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 平成29年6月29日開催の第51回定時株主総会において、株式併合が承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施し、併せて同日付で単元株式数の変更(1,000株から100株への変更)を実施しております。
 なお、株式併合の影響を考慮しない場合の平成30年3月期の連結業績予想及び配当予想は以下となります。
 - ・平成30年3月期の連結業績予想(1株当たり当期純利益) : 78円27銭
 - ・平成30年3月期の配当予想(1株当たり期末配当金) : 19円00銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は、米国では堅調な個人消費に加えて企業部門の業績拡大が進みました。欧州では輸出が牽引役となり企業部門、個人消費とも緩やかな回復基調で推移しました。また、新興国では中国等で景気の持ち直しの傾向が見られました。日本国内では輸出関連企業を中心に企業業績は順調であり、個人消費も雇用環境の改善が続くなか、緩やかな回復傾向で推移しました。

このような経済環境のなか、オフィス用複写機・プリンターや商業用印刷機に使用される電子写真用キャリアの市場は、カラー機を中心に全体としては底堅く推移いたしました。

食品の品質保持に使用される脱酸素剤市場は、概ね横ばいで推移いたしました。鉄粉につきましては、主要用途であるカイロ向けは厳冬の影響もあり前年同期を上回る需要となりました。

これらの市場環境下、当第3四半期の売上高は前年同期比5.2%増加の8,185百万円となりました。

損益面では、主にキャリア事業の増益により、営業利益は1,386百万円（前年同期比2.9%増）となりました。経常利益は為替差益の減少等により、1,377百万円（前年同期比0.2%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は固定資産処分損の増加により、913百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①キャリア事業

当セグメントにおきましては、近年上市した商品を中心に需要が増加し、売上高は6,402百万円（前年同期比5.5%増）となりました。セグメント利益は、エネルギー価格の上昇と研究開発費の増加を増販益とコストダウンでカバーし1,564百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

②鉄粉事業

当セグメントにおきましては、売上高は主にカイロ用鉄粉の増販により1,782百万円（前年同期比4.2%増）となりました。セグメント利益は、コストダウン等により147百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ、主に受取手形及び売掛金と預け金の増加により、489百万円増加いたしました。固定資産は、有形固定資産の減価償却発生金額が設備投資金額を上回ったことなどにより、47百万円減少いたしました。以上により、総資産は441百万円増加し13,282百万円となりました。

負債は、主に未払法人税等の減少により、214百万円減少し3,183百万円となりました。借入金の前連結会計年度末より50百万円減の250百万円となっております。

純資産は、656百万円増加し10,098百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.5%増加し76.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年8月7日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	288,007	333,205
受取手形及び売掛金	1,167,142	1,284,431
商品及び製品	1,100,150	1,217,274
仕掛品	791,459	742,951
原材料及び貯蔵品	442,774	471,025
繰延税金資産	122,543	125,632
預け金	2,684,983	2,914,322
その他	32,522	29,910
貸倒引当金	△766	△835
流動資産合計	6,628,816	7,117,918
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,530,805	4,513,958
減価償却累計額	△2,703,054	△2,757,788
建物及び構築物（純額）	1,827,751	1,756,170
機械装置及び運搬具	9,026,962	9,226,778
減価償却累計額	△6,913,648	△7,318,473
機械装置及び運搬具（純額）	2,113,314	1,908,305
土地	1,860,198	1,860,198
リース資産	196,913	196,913
減価償却累計額	△172,422	△180,522
リース資産（純額）	24,490	16,390
建設仮勘定	112,100	337,668
その他	520,724	534,821
減価償却累計額	△451,853	△474,947
その他（純額）	68,871	59,874
有形固定資産合計	6,006,727	5,938,607
無形固定資産		
その他	11,838	9,749
無形固定資産合計	11,838	9,749
投資その他の資産		
投資有価証券	17,477	17,819
繰延税金資産	156,011	155,870
その他	24,770	47,453
貸倒引当金	△5,199	△5,199
投資その他の資産合計	193,059	215,942
固定資産合計	6,211,624	6,164,300
資産合計	12,840,441	13,282,218

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	944,604	1,131,132
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
リース債務	13,901	7,569
未払金	698,342	588,363
未払法人税等	360,724	183,189
未払事業所税	20,302	15,089
未払消費税等	104,323	87,560
賞与引当金	202,224	141,625
役員賞与引当金	36,000	-
その他	205,600	255,379
流動負債合計	2,686,023	2,509,907
固定負債		
長期借入金	200,000	150,000
リース債務	11,186	8,811
長期末払金	12,061	12,061
環境対策引当金	4,537	4,537
退職給付に係る負債	483,847	498,115
固定負債合計	711,633	673,525
負債合計	3,397,656	3,183,433
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,557,000	1,557,000
資本剰余金	1,566,000	1,566,000
利益剰余金	6,325,622	6,987,055
自己株式	△9,174	△10,576
株主資本合計	9,439,447	10,099,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,205	1,443
為替換算調整勘定	2,130	△2,136
その他の包括利益累計額合計	3,336	△693
純資産合計	9,442,784	10,098,784
負債純資産合計	12,840,441	13,282,218

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	7,780,595	8,185,307
売上原価	5,411,056	5,713,481
売上総利益	2,369,539	2,471,826
販売費及び一般管理費	1,022,893	1,085,736
営業利益	1,346,646	1,386,090
営業外収益		
受取利息	6,342	8,932
為替差益	16,374	-
受取補填金	21,740	-
その他	5,245	7,101
営業外収益合計	49,703	16,033
営業外費用		
支払利息	1,280	873
為替差損	-	1,228
債権売却損	19,985	21,495
その他	921	1,523
営業外費用合計	22,187	25,121
経常利益	1,374,161	1,377,002
特別利益		
固定資産売却益	-	459
特別利益合計	-	459
特別損失		
固定資産処分損	18,929	43,291
ゴルフ会員権評価損	7,250	-
特別損失合計	26,179	43,291
税金等調整前四半期純利益	1,347,981	1,334,171
法人税等	421,714	420,804
四半期純利益	926,267	913,366
親会社株主に帰属する四半期純利益	926,267	913,366

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	926,267	913,366
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,121	237
為替換算調整勘定	△20,267	△4,267
その他の包括利益合計	△19,146	△4,030
四半期包括利益	907,121	909,336
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	907,121	909,336

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	キャリア 事業	鉄粉事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	6,070,193	1,710,402	7,780,595	—	7,780,595
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,070,193	1,710,402	7,780,595	—	7,780,595
セグメント利益	1,541,540	142,579	1,684,119	△337,473	1,346,646

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△337,473千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△338,161千円及び棚卸資産の調整額688千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	キャリア 事業	鉄粉事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	6,402,403	1,782,904	8,185,307	—	8,185,307
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,402,403	1,782,904	8,185,307	—	8,185,307
セグメント利益	1,564,138	147,195	1,711,333	△325,242	1,386,090

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△325,242千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△325,162千円及び棚卸資産の調整額△80千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。